

難聴のお子さんの指導について

聴覚障害とは

身の回りの音や話し言葉が聞こえにくかったり、
ほとんど聞こえなかったりする状態



できるだけ早くから適切に対応を行い、
その可能性を最大限に伸ばすことが大切

分かってもらいににくい障害

手助けがいない

誤解

補聴器を付けているから
聞こえているだろう

みんなの話が
分からない
一人で寂しい



おおぜいの会話も大丈夫

誤解

個別で話したときは
話が通じたから、
分かっているだろう…

分かってもらいにくい障害

目で見えて情報を得ている

指示が分からないから
まわりの動きに
合わせよう



落ち着きがない子

誤解

きよろきよろして
落ち着きがないな

指示を理解して行動できる

誤解

みんなと同じように行
動できているから困る
ことがないよね

話すときはこうしよう

◎相手の注意を
向けてから



◎短い文にくぎりながら



◎何について話すか、
示してから



◎伝わったかどうか確認する



◎目で見て
分かるものを使って



マスクをした人の話は伝わりにくい



聴き取りのよい人でも、マスクをした人の話は、話し始めが分からなかったり、明瞭に聴き取れなかったりします。

◎口元が見える工夫をする



◎筆談する

◎話を文字にするアプリを利用する



聴覚障害が及ぼす影響

- ・危険回避が遅れたり、できなかつたりする
- ・社会性が育ちにくい
- ・相手の話が聞き取れない、誤解する
 - 対人関係上のトラブルの原因になり得る
- ・抽象的な言葉や思考が育ちにくい
- ・ストレスからくる不適応を起こすことがある
- ・不明瞭な話し方になる

情報がしっかり入るように

理解できることばが増えるように

人とよりよく関わっていけるように

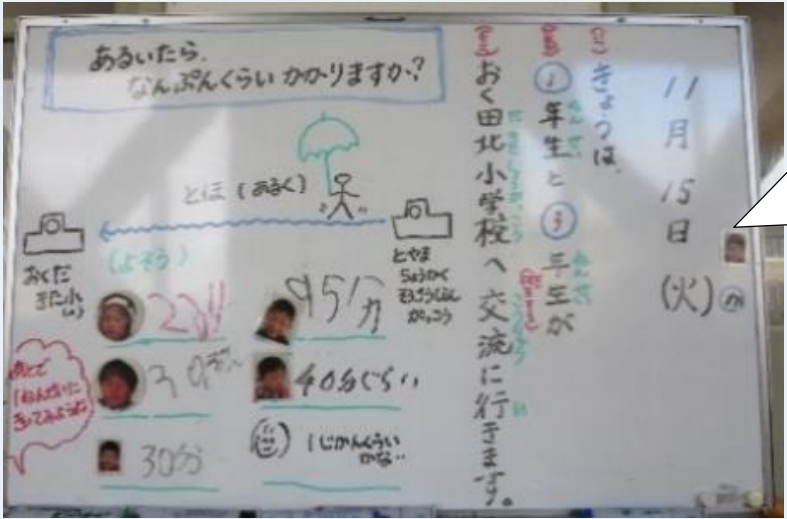
障害を認識し、社会で生きていけるように

聞こえや言葉に関する適切な配慮や支援が必要

～小学部の取組より～ 教科学習の基礎となる言葉を育くむ環境設定

情報を正確に読み取って、言葉で表現する
→いろいろな話題を通して人と関わる

<お知らせボード>



(例) かかる時間の見積もり
「交流学习です。〇〇小学校まで歩くと何分かかるでしょう。」

(例) 地震・津波情報の読み取り
「規模は？避難した人数は？...」
津波の高さは廊下のどこまで？



< 掲示物等の工夫 >

理解できることばが増えるように

読み方は?
(ととと?ふふふ?)

重さの見当
(何キロ?)



五感について
(形は?味は?)

関連絵本
(白雪姫)



関連づけて考える

子供の思考を組み立てる
→抽象的な言葉や思考を育てる。

<ワークシートの工夫>

思考の流れが
視覚的に分かり
やすい

課題に対応させた結論
支援 論理的思考を用い、
言葉をつなぎ、正
しい文となるよう
にする

なぜ 庄内平野では米作りがさかんなのか

事実 (資料に書いてあること)

1. 宮古市よ、酒田市 (庄内平野) の方が降水量が多い。
2. 酒田市の方が気温が高い。
3. 酒田市の方が夏の日照時間が長い。

理由

1. 米作りには水が必要だから
2. 米作りには、夏の昼のあたたかさ
条件に合っているから
3. 米作りには日光が必要だから

結論

庄内平野には、水、気温、日光が十分あり、
米作りに合っているので、米作りがさかんです。

課題文の音読、問
われている内容の
理解